



【は】っけん・気付く

久遠

【ル】ートを考えつながる

【え】がおを創り出す



春江中学校教育目標

- 自ら進んでよく学び、協力して働く生徒
- 規律を守り、責任を重んずる生徒
- 心身ともに健康で、思いやりのある生徒

人生100年時代の「社会人基礎力」とは？

校長 横枕 耕史

三月を迎え、今年度もいよいよ終わりが近づいてきました。卒業や進級は、生徒が**自分の未来をどう切り拓いていくかを考える大切な節目**です。この一年、本校は、授業、部活動、行事など、様々な場面で生徒の力を伸ばしてきました。特に一人1台端末を活用した授業に力を入れ、ミライシードの活用では全国でも高い評価を受け、熊本県から視察が来るほどの実績があり、本校生徒は全国の中学生の中でも最先端の学びの環境に身を置いています。

しかし一方で、今年度の区学力調査では基礎的な学力が身に付いていない生徒が三割程度いる結果が判明しました。この生徒たちにも、「**未来を主体的に生き抜く力**」を身に付けさせる必要があります。見過ごせない課題です。子どもたちの周りには、集中しようと思っても、つい手が伸びてしまうスマートフォンやゲームなど学びの敵といえる誘惑があふれています。自分の得意・不得意、「わからない」「やりたくない」という気持ちも多く「**なぜ学ぶのか？**」を子どもたちが自分事として考え、**自分のキャリアのために力を付けたい**と思わせなければなりません。

学習指導要領では、「**知識・技能**」「**思考力・判断力・表現力**」「**学びに向かう力・人間性**」という三つの柱が示されています。これは、経済産業省が提唱している「**人生100年時代の社会人基礎力**」とリンクしています。社会人基礎力とは、下記の力になります。

考え抜く力 Thinking	前に踏み出す力 Action	チームで働く力 Teamwork
課題発見力 計画力 創造力	主体性 働きかけ力 実行力	発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 状況把握力 ストレスコントロール力

まず、社会人基礎力の一つである「**考え抜く力**」(課題発見力・計画力・創造力)は、授業で身に付ける「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力」と結びついています。タブレットを使った調べ学習や協働的な意

見の共有は、ただ便利なだけではありません。自分の頭で考え、答えをつくり出す力を育てるための大切な学びです。社会では、正解が一つとは限らない問題がたくさんあります。だからこそ、多様な他者とつながり、**深く考え抜く力**が必要なのです。

次に、「**前に踏み出す力**」(主体性・働きかけ力・実行力)は、まさに「**学びに向かう力**」です。自分の「**好き**」や「**得意**」を伸ばし、**失敗を恐れず挑戦する姿勢は、未来を切り拓く原動力になる**。挑戦する者は必ず成長できます。**ポジティブに考え、未来の自分に向け一步一步と前に踏み出す力**が大切です。

残りの「**チームで働く力**」(発信力・傾聴力・柔軟性・規律性・状況把握力・ストレスコントロール力)は、生活のあらゆる場面で意識し、状況を把握し、多様な仲間と協力したり、相手の気持ちを考えて発信したり行動したり、ルールを守り責任を果たすなど、社会に出たときに必ず役立つ力も必要になります。

このような社会人基礎力は、子どもたちが未来の自分や社会の姿につながるために必要なものです。私たちは何歳になっても**夢や目標を抱き、その実現に向けてアクションを起こす**ことが必要ではないかと考えます。それは大きなことでなく小さなことからでも良いと思います。実行できるスモールステップで続ければ、確実な成果につながるはずで、継続は力なりです。無意識に「**できない理由**」を探すのではなく、「**やるべきことを先延ばしにせず、今やる**」ことが大切です。「**やればできる**」という言葉は、ただの励ましではありません。やってみれば、本当にできるようになります。「**頑張る時は、いつも今**」です。

最後に、子どもたちには無限の可能性があり、**自分の人生の舵取りは、ほかの誰でもなく、子ども自身の手で行き先を決め、未来を切り拓くもの**です。卒業や進級を迎えるこの時期にこそ、「**未来の自分はどうかありたいか**」を真剣に考え、その実現に向けて、**チャレンジする一歩を踏み出してほしい**と思います。